Tryの白石とおる
あふれる愛 ひろがる夢 ごみあげる励 のふるさとづくり
徹(Toru)と地域(Region)とあなた(You)
〈発行人〉白石とおる後援会事務所
〒792-0026 新居浜市久保田町3丁目9番27号
TEL 0897-65-3751 FAX 0897-65-3752
●URL http://www.shiraishi.gr.jp/
●E-Mail toru@shiraishi-inc.co.jp

御挨拶

皆様には格別のご理解とご支援を賜りますお礼申し上げます。早いもので、一昨年の衆議院議員選挙が終わり、一年四ヵ月が過ぎました。政権交代を実現した民主党は、その政権運営の中で、外交面では戦略的な思考や配慮もなく、自分たちで問題をつくり出しては、その解決をなおざりにする繰り返しで国際社会の中での日本の信頼はもとより、国益さえも大きく損なう結果となっていることは周知のところとなりました。

また、国内経済は家電、自動車、産業を中心に回復のきざしは見えているとは言うものの、地域の方からその経済状況を眺めてみてもなんら回復の糸口さえ見えてこないのが現状ではないでしょうか。しかも民主党独自の経済政策というものもいまだ姿さえ見えず、マニフェストの内容の弁明に終始し、不完全な政策を言い訳の為に実施しているようにしか見えません。現状を推察しますと、政治主導がいきすぎ、政治家主導になってしまっているとしか思えません。

ただ、今の政策メニューのまずい政治状況は与党民主党だけの責任だけではなく、野党にも大いに責任のあることと受け止めなければなりません。野党自民党も国家の危機的状況をしっかりと自覚して、短期的な施策と中長期的な施策を党として「しくみ」づくりに取り組んでゆくような地域における「しくみ」づくりに取り組んでゆくつくるというのではなく、一人一人の政治家が各自、自分の地域に軸足を置いた地域から発信していくようなな政策をつくり、それを政党としてとりまとめてゆくような流れをつくらなければならないと思うのです。

これまでは、党本部に「マニフェスト」はまだかなどと言っていた議員も自主的に自分の地域をテーマに政策をつくりそれぞれのミクロな取り組みを統一するのではなく、共通するための母体として党本部が役割を果たしてゆくようなシステムを作り上げなければならないと思います。とりわけ、私にとっての大きな課題は地域経済の再興であります。活力ある中小企業が伸びと経営活動を展開し、地域経済のけん引車となってゆくような地域における「しくみ」づくりに取り組んでゆきたいと思います。

今年も地域の皆様と共に歩む政治を心がけてまいります。

どうか今後とも皆様のご支援をお願い申しあげまして私のご挨拶とさせていただきます。

白石徹

街頭演説を通じて

衆議院議員選挙が終わり、今まで朝の街頭演説を続けて参りました。

現政権の政策と私の考えとの違いをしっかりと訴えて行きたいと考え、まずは、景気対策と雇用対策・脱デフレ政策を訴えてきました。

現在の中小企業者がどれほど苦心して、企業経営をおこなっているのかを、十分知った私だからこそ、みなさんに話せると思うのです。

また、若い世代の就職難をどのように解消してゆくのか、産業政策・農業政策・地域医療対策・地域福祉政策、さらには、政治改革、特に議員定数の削減などは、もっとスピード感をもって進めなければならないと思います。

そして、行政改革、なんらビジョンを示すことの出来ない、現政権を徹底的に糾弾しながら、自分のビジョンを語って参りました。

そんな中、街頭演説を終えて朝八時頃に事務所に帰ると、街頭演説の最中に手を振ってくれた方が、来られました。

「今のままじゃ、いかんのじゃけん、頑張らんかいよお!!」二元で頑張るんよ!!」と車を降りて、私を見つけるなり、そう言って頂きました。

うれしくて、握手をさせて頂きながら、涙がでそうで…。

「また、寄ってください!!私、絶対に頑張りますから…。」と言うのが精一杯でした。その人は、旧東予市の方で朝の配達の途中、立ち寄ってくれたのです。仕事の途中なのでと言いながら、早々に帰っていかれる姿を、ずっと見送っておりました。その時、自分自身に「もっと、もっと、ガンバらなくては!!」と…。

街頭演説は、ただ一方的に、通行している人に演説しているだけと思っていました。街頭演説でも、人との出逢いは十分あるのだと思えるようになりました。

それから、毎朝、街頭演説を行う交差点へ行っては立つ前にその交差点に落ちているゴミを拾っています。

結構、タバコの吸殻などが多いのですが、最近、ゴミの落ち方にも交差点の特徴があることに気づき始めました。

交差点の歩道の外側に吸殻が多い所、交差点の歩道に吸殻が多い所、いろいろではありますが、総じて言えることはまだまだモラルが低いということです。

街頭演説を通じて、「町の美化を、今年は徹底的にやろう!!」とか、最近の市民一斉清掃なども、なにか新たな目標を市民が共有できるものを、かもしだせるイベントに成長させたいと考えております!!

今年も街頭演説を続けて頑張って参ります。

皆さん私を見かけましたら是非、「とおるちゃん」「おいっ!!」とおる!!」と声を掛けてください。

自民党大会に参加

平成22年1月、自民党大会に参加して参りました。

昨年の党大会とは若干、シンプルになったと感じるようなステージ!!

佐藤さんという和太鼓奏者の演奏から始まりました。おばあさんの温もりを表現したその演奏は圧巻でありました。

議長選出では、我が愛媛県から女性代表で松山の栗原久子市議会議員が登壇、石破政調会長の挨拶が印象的で、自分の心にすっと入ってきました。

やはり、谷垣総裁の誤ぐんだ「権力抗争にあけくれた政党から脱皮して、真に国民の信頼を得る政党になろうじゃないですか!!」という言葉が一番印象に残りました。

「自民党も捨てたもんじゃないぞ!!」と思える演説だったと思います。

よく、選挙に負けた後を、もっと反省しろという意見を耳にします。

当然、今のままの自民党ではいけないことは、皆さんが骨身にしみるほどわかっているのですが、過去を清算することが出来ない状態のままなのかもしれません。

しかし、今回の自民党大会は、党自体が大改革に挑んでゆくのだという気を、多くの人に与えるには大変意義ある自民党大会であったと思えました。

この、新たなスタートを本物にするのは、今度は私達の努力だと思っています。

私は自民党第三選挙区支部支部長として地域の為に頑張ります。

自民党 意見交換会に参加

平成22年9月29日(水)に自民党本部へ全国から、今回は13人が集まりました。前回の衆議院議員選挙で敗れた人、参議院議員選挙で敗れた人もいました。また、新人として支部長に選任され、これから頑張ろうとしている人、元議員はいなくて、全員新人です。

谷垣総裁、石原幹事長、石破政調会長、大島副総裁、の挨拶があり、鴨下先生から、政策についての説明が若干あって、その後、一人ずつ意見をのべました。

みなさんの意見は、民主党の批判的な意見よりも、前向きな、今後の活動についての意見がありました。

なんとなく、同期の桜が集まったような感じがした会となり、是非、これからも意見交換もかねて、みんなで集まろうという話が盛り上がりました。

次は、みんなで…!!と…。そんな思いを強く持った会となりました。

総裁との談笑のワンショット

新居浜市立泉川中学校「少年式」

平成22年2月4日(木)、新居浜市立泉川中学校の少年式で講演をさせていただきました。

前日は東京で「国東新居浜倶楽部」に出席していた、夜行にとびのり朝駅から直接中学へ向かいました。会場は少し寒かったのですが、きりりと引き締まった2年生諸君の前では、その寒さも吹き飛ぶような感じが致しました。

「少年式」というのを開催しているのは、愛媛県だけです。徳県では、「立志式」として何歳か開催しているだけです。昔で言う元服の祝を祝う、また、少年に自覚を促す意味でも少年式をするのはいいと思うのです。

私は、「ボランティアを育む」というテーマで講演をさせていただきました。最初に、今日の話を通じて皆さんに理解していただきたい、「弱さの強さ」について切り出しました。これは、私自身の生涯のテーマでもあります。民谷健次郎の「がんばれマリちゃん」フィリピンの子供達の笑顔、阪神大震災の避難所の人々、平成16年の新居浜の豪雨災害での高校生ボランテアなど、私の体験にもとづく話しながら、「弱さの強さ」というものを感じる人になってもらいたいとの心をこめて話をしました。あっという間に持ち時間が来てしまい終了。できれば、生徒のみさんと、もう少し対話をしてみたかったのが本音のところです。

講演終了後、生徒の職場体験の発表がありましたので出席をさせてもらいました。どの子の発表も、職場体験で自分の今後の進路を模索しているかのように真剣に取り組んでいる姿を感じることができ、逆にずっぷん刺激を受けました。しかも、職場体験に基づき、今後自分がどうしなければならないかとか、何に気をつけてやらなければならないかなど、しっかり自分なりの意見をまとめていることが感心できました。私の会社にもこのような発表が出来る場があればと思いつつ、会場を失礼させていただきました。

皆さんの意気込みには驚きました。途中、屋根が予想以上に傷んでいて、多額の修繕費が掛かるとかもんとかするという意志はくじけませんでした。みなさんの気持ちが通じて突然協力者の方が現れました。

あれから、五年。これまでの、五年間は、その時以上の努力が必要だったのはないでしょうか。どんな苦労があっても、どんな状況であっても、笑顔を与えてくれる皆さんに私は勇気付けられました。皆さんの愛情溢れる活動が、この新居浜の一角から徐々に、少しずつ人へ、人へと伝わっていくほどに、「たとえば」が多くの人に見守られながら、育まれてゆく姿が目に浮かんできます。「ハイ!!うどん一つ」元気な声が聞こえてきます。

これから、「たんぽぽ」の皆さん頑張って下さい。私もさらなかやすが、心から応援をさせて頂きます。

極楽寺 光明真言義民堂落成式

平成22年4月2日(日)極楽寺の光明真言義民堂が落成しました。

無長が落慶奉讃文を朗読、開眼に合わせて、頂いていた文章をしっかりと目で追ってゆきその内容にじっくり噛みしめてゆきます。これまでの寺の歴史が組解かれてゆくような感覚です。またその義民堂が大変すばらしい!!山の緑のなかに、溶とたたずむ、お堂を眺めているだけで自分も清めて頂いているような感じです。さらには、破地獄の経典を書き込んだ、水晶玉を屋根の中央に納めて完成です。般若心経を何度も読み上げるだけですがすがしい落慶式典でした。

神風特別攻撃隊 戦没者慰霊追悼式典

平成22年10月29日　西条市大町にて、神風特別攻撃隊戦没者慰霊追悼式典に参加しました。これまでまったく雨が降ったことがないという式典が今年はあいにくのドシャ降りでした。

朝、樽本神社に参りましたときに、知覧に行った時のことが脳裏をかすめました。私の父も予科練の13期生でありました。もう、数日終戦が遅ければ、私はこの世に存在していなかったと父から聞かされていました。

そのことを、親父は誰が良かったとかこうかいたかいた、私にとって知覧の訪問は衝撃的な体験でありました。

また、多くの特攻さんのおかげで今の日本があるのだということが理解することができました。多くの人々に、感謝を忘れることなく、私たちは、この国を次の世代に承継でゆかなければならいのです。

自衛官の方の号砲発射

追悼演奏、海上自衛隊呉地方総監部音楽隊

とんかかさん 踊り奉納

平成22年7月17日、天正の戦で討ち死にした武将の弔いをするために、とんかかさん踊りの奉納が執り行われました。

「とんかかさん踊り」は、私達、金栄校区が皆さんで支えている文化であります。

踊り連の皆さん

茶道裏千家淡交会 茶会にて

平成22年3月1日(月)朝、起きてからもう一度、台所で手順の確認それから、着付けを依頼してたところへ行き昨に衣変え、8時30分頃には、会場に到着して早速おさらい。前日のリハーサルでは手が震えてしまい不安でした。やはり、当日、茶会が始まるとすぐに私の出番で最初の立ち座りができるかどうかで不安で一杯でした。かまえた時には、心の中で「嶋田美太郎さん見とって!!」と訴えながら次へと進んで行きました。

すると、なんとなく不思議な落ち着きが自分に湧いてくるような気がするのです。何度か心の中で強にすがりながら、それでも上がってしまい、途中、自分がどのようにしたのか記憶にないほどありました。

献茶を無事終えて、その席が終了した時に、多くの方から「よかったよ!!」と言ってもらいホッとしました。出席しておられた方の家族の皆様、また、淡交会の皆様にも、なんとかご迷惑をかけずに節点前ができたことが自分にとっての最高の喜びでありました。

第七回 日光カップ レクバレーに参加

平成22年11月28日　新居浜市民体育館にて、第7回日光カップ、レクバレー大会が開催されました。毎年、抜群にお呼びがかかる人気の大会であります。参加チーム数も多く、また、参加者は五〇〇人を越える大会となりました。昨年は、男子バレー部心、私の選挙の応援にも来てくれればと思いつつ中田さんを見送らせていただきました。

中田さんには、大会に対してすばらしい花を添えていただきました。内

判断して切り捨ててしまうようなことであってはならない。今の事業仕分けを引用しての話でした。そしてあわせて、一期一会の覚悟というものが無い!!だから、言葉に信頼感が無いのです。言葉を使うときの覚悟が必要ですねというお話でした。非常に分かりやすく、また、私達が今、失いがちの心を論してくださいました。

開設五周年 たんぽぽ

平成16年5月3日、「NPO障がい者(児)自立支援　たんぽぽの会」が設立してから、早いものでもう五年がたったのです。最初、施設を開設するのに「俺の宮公園にいいところがあるんで。」と言って連れてこられた時には、正直、この建座は大丈夫かなあ?と思いました。

なんとか資金して頂けるようにお話はしたものの、芸予地震の影響で建座は少しずれていましたし中は雑材でいっぱいでした。

NPO法人 わくわくアイランド大島 総会

平成22年5月27日(木)、新居浜市の大島にて『NPO法人わくわくアイランド大島』の総会へ出席致しました。黒島の船着場に着くとフェリーを降りてくる方から、「今日はごめんよ、こっちで用事があるんで…。」と言う人に何人か会いました。総会の会場「みんなで作った小屋」に行くと、参加者は例年より少なめでした。でも、皆さん活気がありました。総会の後、「皆さんで記念写真を撮りましょう!!」いやあ、去年も「来年は生きとるかどうか、わからんけん記念写真とっとこ!!」と言って、皆さんと一緒に写真を撮ったことを思い出しました。

昼食の時に欠席者の方々の近況なども話題になって話が弾みました。ある人が、「今日、来れたのは、今朝、電話をしてくれたおかげやわいね!!」「あんまり早よから、案内してくれても、忘れるけんねえ!!」と一言。すると、もう一人の方が「そうよ、そうよ、ワシら~当日の案内が、一番ええんよ!!。まちがいなく出席できるわなあ~」と言われました。その時、そおかあ!!私にとっては、できるだけ早めの案内が理想で価値があるわけですが、だけど皆さんにとっては、できるだけ開催の案内が価値の高いものとなっているわけです。

そんなふうに、高齢者の方と、若い世代との価値観の違いはどのようなところにあるのか?調査をしてみてもおもしろいかなどと考えていました。

そんな、高齢者の方の町「新居浜市大島」、夏の盆踊りがすたれてしまってせっかくの大島だけで歌われる盆踊りの時の歌声も、それを歌うことが出来る人が二人だけだそうです。今年は、その一人の体調の関係もあって、歌えるのは一人が精一杯ではなかろうかということでした。しかも、大島独特の「念仏おどり」だそうです。丁度、十周年を迎える、「NPO法人わくわくアイランド大島」ですから、みんなで参加できる楽しいイベントをやろう!!と誰かが言うと、皆さんがいっぺんに盛り上がって、「念仏おどり」とその歌を守ってゆくために頑張ろう!!ということになったのです。今年の夏、パワーを頂きにまた、行きますので宜しくお願いします!!

愛媛今日会

平成22年11月14日(日)、愛媛今日会に参加しました。

お郷元の講演は、私達にあらためて、「言葉の覚悟」というものを考えさせられました。

必要な無駄と不必要な無駄がある!!必要な無駄はゆとりとなり、不必要な無駄はすなわち浪費ということです。ただ、必要か不必要かだけ、すべてです。

思い出アルバム

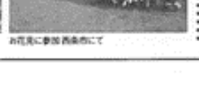
西条秋祭り・東田さん宅にて

新居浜秋祭り・高齢者の方と記念撮影

頑張れ!!歌声会にて

新居浜青年会議所主催 B級グルメ

新旧対抗 四国中央市にて



お花見に参加 西条市にて

伊勢志摩バリアフリーツアーセンター全国会議へ参加

平成22年9月7日(木)～8日(金)の二日間、三重県鳥羽市へ「障がい者・高齢者の旅を受け止める全国会議」へ参加して参りました。「伊勢志摩バリアフリーツアーセンター」とは、日本初のバリアフリー観光案内センターであり観光地伊勢志摩のあかの浦羽市に設置されております。バリアフリーの宿泊、観光施設の紹介、旅行アドバイスをスタッフ(障がい者を含む)で行うNPOです。伊勢志摩地域内の障がい者が中心となって、宿泊、観光施設へ出向き、「身体が不自由な観光客の視点」でバリアフリー調査を行い、その結果をアドバイスとともに情報提供されております。バリアフリー調査は、玄関入口の幅から、段差の高さなどバーソナルバリアフリー基準に基づき、細かく調査した結果は、車椅子、視覚障がい者、聴覚障がい者、知的発達障がい者、高齢者など様々な人たちに対応できる情報を収集し、当事者が宿泊、観光、遊びがそれぞれの選択ができるような情報を案内しています。バリアフリー情報を発信するだけでなく、観光施設のバリアフリーアドバイスや啓発活動をいながらバリアフリー観光を推進し、日本一のバリアフリー観光地づくりを目指して、観光事業者及び、障がい者、高齢者をサポートをしています。全国各地からバリアフリーツアーセンターを立ち上げていきたいと考えております。